

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 東洋シート

(2) 事業所の所在地

〒736-0002 広島県安芸郡海田町国信1-6-25

(3) 業種

自動車部品付属品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25（2013）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とする。
（去年度作成の計画書を温室効果ガス総排出量に目標を変更。）

3 計画の基本的な方向

1、基本的な考え方

当社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、製品の開発・設計から製造販売に至る当社の事業活動の中で、環境への負荷軽減に取り組めます。

特に、地球温暖化防止につきましては、その重要性を認識し、温室効果ガスの排出削減に努めてまいります。

2、方針

環境に配慮した製品の開発・設計及び生産活動の中で、特に次の事項について重点的に取り組めます。

- 1) 天然資源の枯渇を防ぐための省エネ、省資源化の推進
- 2) 生産設備などの管理徹底による汚染防止
- 3) 廃棄物・排出物の削減・リサイクル

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2022）年度
二酸化炭素	4,781	3,779

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和3（2022）年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成25（2013）年度	令和25（2022）年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF ₆ NF ₃)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 25 (2013) 年度)		削減目標		目標年度 (令和12 (2030) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	4,781	33.1	1,581	3,200		
非エネルギー起源CO ₂	0		0	0		
メタン	0		0	0		
一酸化二窒素	0		0	0		
その他 温室効果ガス	0		0	0		
温室効果ガス 実排出量総計	4,781	33.1	1,581	3,200		
温室効果ガス みなし排出量	0	-	0	0		
目標設定の考え方	基準年排出量に対して2030年33.1%削減目標 (1.5%/年以上削減) (2013年原単位基準に対し2030年原単位の50%以上削減を 見込めるであろう数値)					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度			原単位 削減目標	目標年度		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	-	-		0.0	-	-	
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	使用量 0.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率ボイラーへ更新 ・ボイラーの配管ロス削減削減 ・高効率バーナーへ更新
2	電気使用量の削減	使用量 3.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化、人感点灯、タスク・アンビエント化 ・最新省エネ機器の導入・更新 ・インバーター機器の導入 ・低損失トランスへ交換 ・新規生産設備の低電力設計 ・EMS、空調デマンド導入 ・地熱空調の検討 ・建屋・設備の遮熱・断熱検討
3	購入電気使用量の削減	使用量 4.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・オンサイト太陽光発電導入 ・駐車場土地太陽光発電設備の検討
4	温室効果ガス排出量の削減	使用量 4.0%削減	・オフサイト太陽光発電導入
5		使用量 4.0%削減	・非化石率の高い電力購入
6		—	・ボイラー、バーナーの排出係数の少ない燃料へ転換検討

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

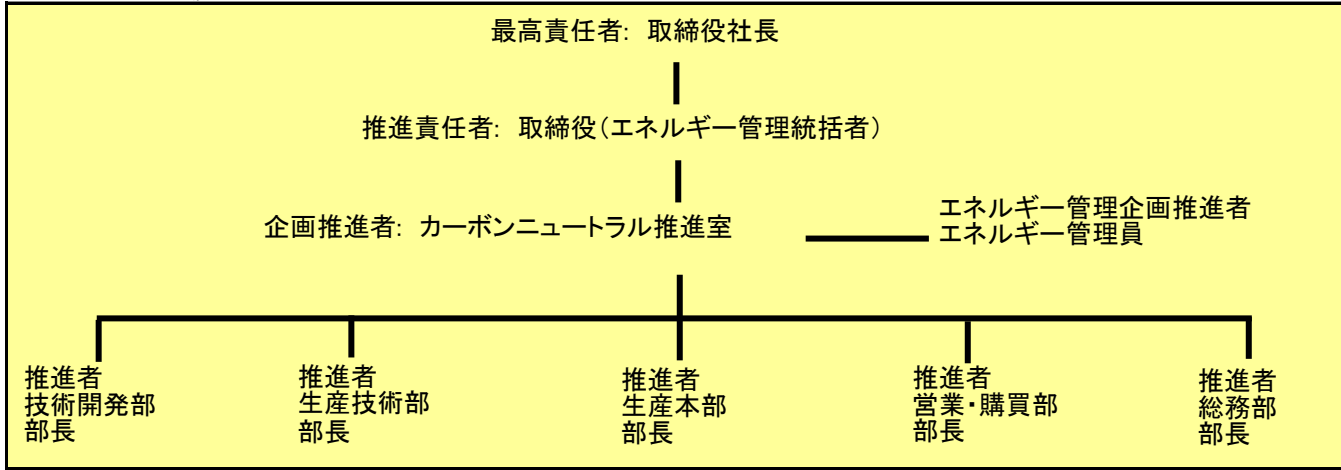
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・経営企画部より計画される環境計画書(カーボンニュートラル推進室計画)を基に、各部で活動を行う。その結果は、毎月報告し、達成状況、今後の活動についてトップレビューを受ける。
- ・活動状況については、社内LAN上共有フォルダにて公開している。

(3) 計画書等の公表

- ・事務所に備え付け観覧する。

事業所位置図

